

【R7年度前期 学校評価アンケート結果】

- ・%は評価基準「4 よくできている」と「3 ややできている」の合計。
- ・「比較」はR6からR7への変化の値です。5ポイント以上の変化は色付けしています。
- ・★項目は大和田小学校の独自項目です。(それ以外は市内共通)

【保護者】

回答率：67.2% (454人/675人)

	項目	R7.6	R6.6	比較
①	お子さんは、友だちと「お互いの良さを認め合う」ような関係作りができますか。	87.2	91.9	-4.7
★ 1	お子さんは、自分の良さに気付いていると思いますか。	81.5	80.4	+1.1
②	お子さんは、目標を持って学習したり生活したりしていますか。	73.1	70.8	+2.3
★ 2	お子さんは授業中、友だちと意見交換をし、一緒に課題へ取り組む学習をしていると思いますか。	75.6		—
③	お子さんは、調べたいことやわからないことを自分から調べるなど、色々なことに興味を持って学習に取り組んでいますか。	69.4	68.3	+1.1
④	お子さんは、日頃から読書に親しんだり、図書資料を使って調べ学習をしたりしていますか。	52.0	50.7	+1.3
⑤	お子さんは、毎日の学習でタブレットを活用していますか。	40.5	32.6	+7.9
⑥	お子さんは、運動やスポーツに親しんでいますか。	81.7	78.7	+3.0
⑦	お子さんは、望ましい食習慣が身についていますか。	77.5	80.4	-2.9
⑧	学校は、保護者や地域の方々と共に、子どもを育てる取組を進めていると思いますか。	87.9	86.6	+1.3
⑨	学校には、一人一人のニーズに対応したきめ細やかな支援体制が整っていると思いますか。	73.3	72.0	+1.3
⑩	学校は、体験活動を取り入れていると思いますか。	83.9	80.8	+3.1

【児童】(5・6年生のみ)

	項目	R7.6	R6.6	比較
①	友だちの良いところを見つけることができますか。	99.0	95.0	+4.0
★	自分には良いところがあると思いますか。	84.5	82.2	+2.3
②	目標を持って学習したり、生活したりしていますか。	84.5	80.0	+4.5
★	授業中に友だちと意見交換や交流をすることで学びが深まったり、できるようになりますか。	90.3		—
③	調べたいことやわからないことを自分から調べるなど、色々なことに興味を持って学習に取り組んでいますか。	84.0	80.6	+3.4
④	日頃から読書に親しんだり、図書資料を使って調べ学習をしたりしていますか。	63.6	57.2	+6.4
⑤	"日々の学習で、タブレットを活用していますか。	85.4	85.0	+0.4
⑥	日頃から運動やスポーツに親しんでいますか。	74.3	76.7	-2.4
⑦	給食では、栄養やマナーなどを意識して食べていますか。	84.0	85.0	-1.0
⑧	学校の活動で、地域の方たちと共に学ぶ機会がありますか。	51.5	52.8	-1.3
⑨	困ったことがあった時に相談できる先生がいますか。	91.7	82.8	+8.9
⑩	学校の活動では、体験や交流が取り入れられていると思いますか。	94.2	85.6	+8.6

【教職員】

	項目	R7.6	R7.1	比較
①	児童たちは、友だちの良いところを見つけることができていますか。	100	100	0
★	児童たちは、自分の良いところに気付いていると思いますか。	92.0	92.6	-0.6
②	児童たちは、目標を持って学習したり、生活したりしていますか。	84.0	88.9	-4.9
★	児童たちは、授業中に友だちと意見交換や交流をすることで学びが深まり、できるようになったりしていると思いますか。	100		—
③	児童たちは、調べたいことやわからないことを自分から調べるなど、色々なことに興味を持って学習に取り組んでいますか。	92.0	92.6	-0.6
④	児童たちは、日頃から読書に親しんだり、図書資料を使って調べ学習をしたりしていますか。	88.0	85.2	+2.8
⑤	児童たちは、日々の学習で、タブレットを活用していますか。	68.0	74.1	-6.1
⑥	児童たちは、日頃から運動やスポーツに親しんでいますか。	72.0	81.5	-9.5
⑦	児童たちは、給食では、栄養やマナーなどを意識して食べていますか。	68.0	85.2	-17.2
⑧	大和田小学校は、保護者や地域の方々と共に、子どもを育てる取り組みを進めていると思いますか。	92.0	96.3	-4.3
⑨	大和田小学校は、児童たち一人一人のニーズに対応したきめ細やかな支援体制が整っていると思いますか。	88.0	92.6	-4.6
⑩	大和田小学校は、学校の活動や授業で体験活動を取り入れていると思いますか。	96.0	92.6	+3.4

【主な成果と課題、および今後の対応について】

児童や教職員の入れ替わりにより、学校の実態は変化していますが、昨年度と比較したところ、今年度も概ねすべての項目で高い肯定的な評価をいただいております。以下に、主な成果や課題、今後の対応についてご報告いたします。

① 自己肯定感・有用感(★1)

児童の回答は非常に高く、子どもたち自身が自分に価値を感じ、自信を持っている様子がうかがえます。そうした前向きな姿勢が、子ども同士の関係づくりにも表れ、それがご家庭にも伝わっているものと感じられます。

② 目標意識

教職員と子どもの評価は同等のポイントですが他項目と比較するとやや低めの結果となりました。今後は、学習や学校生活全般において、児童が自ら目標を設定し、計画的に取り組めるよう指導を強化してまいります。PDCAサイクルなど、目標設定を重視した学習活動を意図的に取り入れていけるよう情報共有します。

★2 対話的で深い学び(新設項目)

この項目は、ご家庭からの評価が難しい内容だと考えております。後期に向けて、学校での取り組みや児童自身が感じている学びの効果が、よりご家庭にも伝わるよう工夫してまいります。

③ 主体的な学び

他項目と比較するとやや低めの結果となりました。この結果からは、児童が自ら学ぼうとする姿勢について、さらなる育成の余地があることがうかがえます。また、子どもたちの主体性を育む教育への保護者の皆様の高い関心と期待の表れであると受け止めております。主体性を育てることは、日々の学びや経験の中で少しずつ積み上げていくものであり、学校では今後も、児童が「学ぶことの意義」や「学ぶ楽しさ」を実感できるような指導や学習活動を工夫し、自ら考え、意欲的に学ぶ姿勢を育ててまいります。

④ 図書の活用

今年度読書活動の他、さらに図書資料活用に力を入れていることが教職員評価の結果に表れています。今後は、児童や保護者にもその意図や効果が伝わるよう働きかけてまいります。

⑤ タブレットの活用

例年、1年生へのタブレット配付は秋ごろとなるため、調査時点での使用頻度が低く、保護者の評価が低くなっている可能性があります。また、「毎日使用しているか」という設問も影響していると考えられます。効果的な活用を重視し、学校全体で活用方法について考えていきます。

⑥ 運動

今年度からは、特に体育教育に重点的に取り組み、生涯を通して子ども達が豊かなスポーツライフを送ることができるようにしていきます。例年、この項目は寒くなる12月の後期アンケートで評価が下がる傾向にあります、今年度は児童の運動機会や取り組みをより充実させていきたいと考えております。

⑦ 食育

教職員の評価がやや低かったのは、感染症拡大以降に黙食が徹底されていたことを背景に、最近になって段階的に緩和され、会話しながらの食事が再開されたという状況があるためと考えられます。今後は、食育の意義や工夫について伝えてまいります。

⑧ 地域連携

児童の評価が著しく低かった点については、地域とのつながりを「直接何かを教えてもらう体験」に限定して捉えている可能性があると考えられます。今後は、地域との多様なかかわりの意義を伝えながら、意識の醸成を図ってまいります。

⑨ 支援体制

児童の評価(91.7%)は非常に高く、安心して相談できる環境が整っていることが表れています。学級担任だけでなく、教科担任制や複数の教職員が児童の指導に関わる体制が功を奏していると考えられます。

⑩ 体験活動

学校での体験活動について、保護者の皆様にその内容や意義が十分に伝わるよう、今後はより積極的な情報発信を行ってまいります。